



公共 新訂版

実教出版編修部

旧版 702『公共』は、生徒のみなさんにとって読みやすいことを第一として、豊富な資料をもとに課題を検討し、協働して探究することができる教科書をめざして編修しました。「公共」の開始にあたっては期待と不安の声が聞かれましたが、多くの先生方の授業実践に役立てていただいております。

改訂にあたっては、根幹となる上記方針を継承しながら、公共らしい学びをさらに充実させることを意識しました。公共とは何か、私たちはなぜ公共を学び探究するのか。著者陣の思いは、教科書2ページに巻頭言としてまとめております。

『公共 新訂版』は多くの特徴を備えていますので、改訂のポイントを交えつつご紹介します。

①紙面の大判化

従来のB5判からAB判に生まれ変わりました。1.3倍ほど大きくなったスペースは、やみくもに学習要素を追加するのではなく、主に写真や資料類の拡充のために割り当てました。

その一方で、大きな紙面を生かしたページも新設しました。各編の冒頭に、現実社会の具体的な課題や問いを材料に学習の見通しを立てる概説ページを用意しました(50ページ、100ページ、166ページ)。また、国際政治の関連年表(172ページ)は、戦後から冷戦終結までの国際政治のダイナミズムを視覚的に理解できる構成にしています。

②生徒の興味を引き出し、理解を助ける工夫

各節冒頭には、その節で扱う学習内容を象徴するような写真やイラストを配しました。また、高校生の目線による素朴な発言を付してあり、リード文とともに生徒の興味・関心をひきつけながら単元の主題を確認する授業の導入としても活用することができます。

同じく各節の冒頭には「学習課題」を明示して

ありますので、授業に目的意識をもたせることができます。また、図版や資料には読み解きの観点である「Check」を配しており、本文記述を前提としながらより深い考察を促すことができます。

また、旧版でもご好評いただいていた各種コラムも充実しています。最新時事と課題を提示する「時事 Note」、つまずきがちな学習内容を対話形式で解説する「なるほど Q&A」、社会でも役立つ生きた知識を紹介する「Navi」、模擬的活動を通じて理解を深める「Challenge」など、多種多様な内容を指導の流れに合わせて自由に活用いただけます。

③探究学習と巻末ワークの新設

課題解決の探究学習に関しては、それらを効果的に実践するための仕掛けを随所に設けました。

公共の扉では、思考実験や論理的課題を扱う特集ページ「Trial」において自分の考えをまとめ、話し合いによって他人の意見に触れて自分の意見を見つめ直す機会を得られます。また、各節末に置かれた「Try」は、本文で学習した知識を確認する課題であり、自分の言葉で表現する練習になります。さらに、指導要領に明示されている13の主題に関連する節には、探究学習に向けたヒント「探究のタネ」を示してあります。

各章末では、これまで学習してきた知識を活用し、資料読解を通じて考察を深める「Active」において、大きな社会的課題にチャレンジできます。また、第3編「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」では、漫画を通じて探究学習の方法論を順序立てて理解することができます。

新設の巻末ワークは、指導要領に明示されている13の主題を念頭に作成しており、見開き内で知識の整理から協働的な考察まで効率的に探究学習をおこなうことができます。

旧版同様に、大判でイラストや写真が多く、一見やさしそうに見える教科書ですが、大学入学共通テストにも対応できる知識のほか、思考力・判断力・表現力を培う問いかけなども十分に盛り込まれています。ぜひ手に取っていただき、ご一読ください。